

## 第三学年 学習プリント① 熟語の読み方

課題 熟語の読み方について知ろう。

### ◎学習の流れ

- ①教科書を見ながら、ワークシートの空いているところを埋めていきましょう。
- ②二枚目は練習問題になっています。教科書を参考に、解いてみましょう。

1・2年生の教科書で「音読み」と「訓読み」について確認しよう。

漢字には【と】【と】【と】があり、熟語は、次のように音と訓をさまざまに組み合わせる。

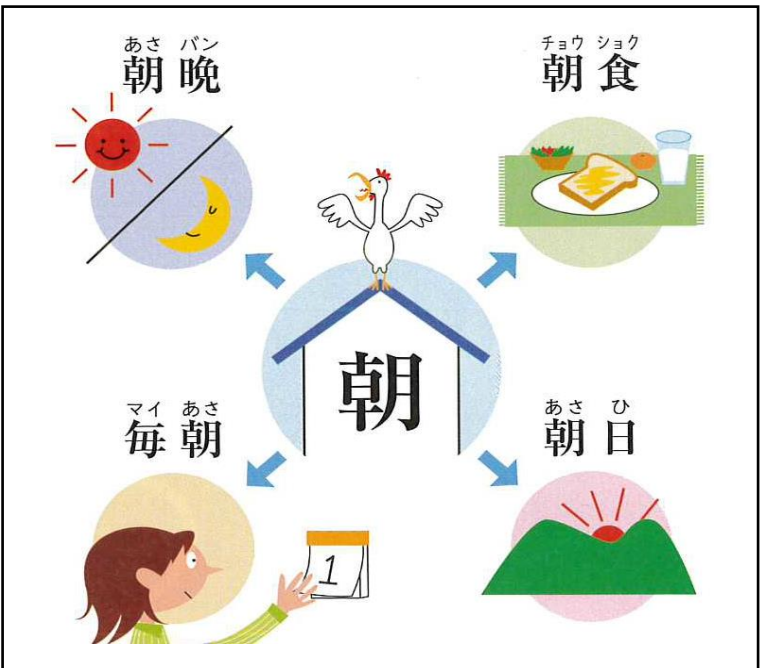
熟語は、上の漢字が音読みなら下の漢字も音読みに、上の漢字が訓読みなら下の漢字も訓読みになることが多い。

### ◎パターンA 音と音

例	着陸 (チャク・リク)
	整頓 (セイ・トン)
熟語を考えよう	

### ◎パターンB 訓と訓

例	着物 (き・もの)
	長袖 (なが・そで)
熟語を考えよう	



### ◎パターンC 音と訓「重箱読み」

熟語の上下の漢字を組み合わせる。

「重箱」は「重」を音、「箱」を訓で読む。このように、上の漢字を音、下の漢字を訓で読むことを【とじう】。

例	仕事 (シ・ごと)
	両脇 (リョウ・わき)
	茶釜 (チャ・がま)
熟語を考えよう	

例	夕刊 (ゆう・カン)
	荷物 (に・モツ)
	枠内 (わく・ナイ)
熟語を考えよう	

「湯桶」は、「湯」を訓、「桶」を音で読む。上の漢字を訓、下の漢字を音で読むことを【とじう】。

熟語の中には、漢字一字ごとに音や訓で読むのではなく、一つのまとまりとして特別な読み方をするものがある。この特別な読み方を【とじう】。

例 明日 ( ) 今年 ( ) 五月雨 ( ) 白髪 ( ) 梅雨 ( ) 吹雪 ( )

## 第三学年 熟語の読み方 学習プリント②

### 練習問題

① 次の傍線部の熟語を読もう。音片仮名と訓平仮名も書こう。そのうち重箱読み・湯桶読みには「重箱」もしくは「湯桶」と書きまじよう。音・音の場合や訓・訓の場合は斜線を引きましょう。

	問題	読み	音・訓	重箱・湯桶
①	例 峡谷を探検する。	キョウ・コク	音・音	
②	干潟にすむ生物。			
③	喪中のはがき。			
④	藍色の返物を送る。			
⑤	川の浅瀬を渡る。			
⑥	錦絵の博覧会。			
⑦	まっすぐに純粹な瞳。			
⑧	国王に調印する。			
⑨	繻玉を飾り付ける。			
⑩	錠前を取り付ける。			
⑪	患者を治療する。			
⑫	碁石を片付ける。			

② 次のアは音で、イは熟字訓で読もう。

	問題	読み		問題	読み
①	ア 甲乙		③	ア 撲滅	
	イ 乙女			イ 相撲	
②	ア 崩壊		④	ア 硫酸	
	イ 雪崩			イ 硫黄	